

田和山の森から

20周年記念事業について

前号でお知らせしました20周年記念事業の概要が次のように決まりましたのでお知らせします。
なお、実施に当たってはいろいろご協力いただきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

記

1. 日時 令和5年11月5日 14:00～19:00
2. 会場 乃木公民館大会議室
3. 概要
 - (1) 開会 14:00
 - (2) 主催者挨拶 14:05
 - (3) 経過報告
 - (4) 来賓挨拶 14:30
 - (5) 記念講演 15:00
講師：長濱和代さん（林業経済研究所研究員）
演題：里山の利活用——今と昔——日本と海外——
 - (6) ディスカッション 16:00～16:30
休憩、会場整理
 - (7) 懇親会 17:00～19:00



※参加申し込み 10月20日（金）役員まで（連絡先 090-7772-9414）

〇8月の作業



金網に絡んだクズの刈り取り



入口の草取り（ネジ花保護）



下草の除草 I



下草の除草 II

〇階段上のプレハブ撤去

森の入り口階段を上った所にあるプレハブが取り壊されることになりました。以前は私たちの会も利用していましたが、今では電源の利用だけであり、撤去後は近くにある電柱から電源のコンセントを設置してもらうことになっています。

田和山の樹木 第43回 ノグルミ

クルミの名を聞いたことのある方も「ノグルミ」は知らないという人は多いと思います。しかし、田和山では生育本数、高さ、太さいずれもが10指に数えられる樹木です



クルミの仲間ですが、前回紹介したオニグルミと違い実は食用にはなりません。日本では、神奈川県以西の本州、四国及び九州に分布するクルミ科の落葉樹で、実は食用にならないがクルミの仲間です。葉は写真のような羽根状で、3～7対の小さな葉が集まって一組の大きな葉を作り、小葉一枚の長さは4～10センチほどで、先端が尖り、縁にはギザギザがあります。

実はオニグルミやサワグルミなどと違い、写真右のような長さ2～3センチの球果を作り、奥に隠れる堅果は、熟すと自然に落下するが、小さな羽がありかなり広範囲に散布します。田和山では明るくなった林床にたくさんの幼樹をみることが出来ます。

ノグルミの実と樹皮（「ノブ皮」という）は染料に、幹は器具材として用いられるようですが、田和山では椎茸原木として活用しています。別名のノブノキは「野渋の木」が転じたもので、材にタンニンを含むことに由来し、燃やすと沈香に似た香りがあり、蚊取り線香のような使い方ができます。（竹下記）

今後の活動予定

9月1日（金）9:00～、8日（金）9:00～、16日（土）9:00～、22日（金）9:00～、29日（金）9:00～
10月6日（金）13:30～、13日（金）13:30～、21日（土）9:00～、27日（金）13:30～